

Makita

取扱説明書

充電式 コーヒーマーカー

モデル CM501D



このたびは充電式コーヒーマーカーをお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いいくださるようお願いいたします。なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



目次

・ 主要機能	3
・ 充電式製品共通の安全上のご注意	5
・ 充電式コーヒーマーカー安全上のご注意	9
・ 各部の名称	10
・ 別販売品のご紹介	11
・ バッテリーについて	12
・ バッテリー（別販売品）の取り付け・取りはずし方	13
・ スイッチの操作	14
・ 保護機能	15
・ 本機およびバッテリーの保護機能	15
・ 使い方	16
・ コーヒーの入れ方	16
・ 故障かな？と思ったら	20
・ 保守・点検について	21
・ 本機のお手入れ	21
・ 保管について	22
・ ご修理の際は	22
・ マキタ充電式コーヒーマーカー保証書	24

主要機能

主要機能	モデル	CM501D	
バッテリー※ ¹		リチウムイオンバッテリー	
		BL1040B (容量 4.0 Ah)	
		BL1430 (容量 3.0 Ah)	
		BL1430B (容量 3.0 Ah)	
		BL1440 (容量 4.0 Ah)	
		BL1450 (容量 5.0 Ah)	
		BL1460B (容量 6.0 Ah)	
		BL1815N (容量 1.5 Ah)	
		BL1820 (容量 2.0 Ah)	
		BL1820B (容量 2.0 Ah)	
		BL1830 (容量 3.0 Ah)	
		BL1830B (容量 3.0 Ah)	
		BL1840 (容量 4.0 Ah)	
	BL1850 (容量 5.0 Ah)		
	BL1850B (容量 5.0 Ah)		
	BL1860B (容量 6.0 Ah)		
電圧		直流 10.8 V / 14.4 V / 18 V	
給水タンク容量		240 mL	
保温機能		なし	
使用可能なカフェポッド		60 mm タイプ	
ドリップ所要時間※ ² (160 mL の場合)	BL1040B 使用時		約 7 分
	BL1430B 使用時		約 5 分
	BL1860B 使用時		約 5 分
寸法 (バッテリー除く)		長さ 243 mm x 幅 145 mm x 高さ 218 mm	
質量 (バッテリー除く)		1.5 kg	

※ 1 : BL1015、BL1415N は使用できますが、ドリップできる量は以下のようになります。

バッテリー	ドリップ量 (参考値)
BL1015	100 mL
BL1415N	140 mL

※ 2 : ドリップ所要時間は参考値です。バッテリーの状態や気温、水温などにより変化します。

マグカップの仕様	
容量	240 mL
材料の種類	カップ本体：ステンレス鋼 (SUS304) 持ち手：ポリプロピレン (PP) (耐熱温度 100 °C)
使用上の注意 <ul style="list-style-type: none"> ・ 乳幼児には使用させないでください。 また乳幼児の手の届くところに置かないでください。 ・ 火のそばに置かないでください。 ・ 食器洗浄機・食器乾燥機は使用しないでください。 ・ 電子レンジを使用しないでください。 	

- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の **⚠ 警告** ・ **⚠ 注意** ・ **注** の意味について

ご使用上の注意事項は **⚠ 警告** と **⚠ 注意** ・ **注** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

- ⚠ 警告** : 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
- ⚠ 注意** : 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
 なお **⚠ 注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 注** : 製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なお注意。

⚠ 警告

- ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。

使用環境

1. ご使用されるときは、周辺を整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ちらかった暗い場所は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - 充電式製品から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を近づけないでください。
 - 注意力が散漫になる可能性があります。
 - 作業者以外、充電式製品や充電器のコードに触れさせないでください。

電気に関する安全事項

1. 充電器の電源プラグは、電源コンセントに合ったものを使用してください。電源プラグを改造したり、電源プラグをアダプタプラグなどで接続しないでください。また、接地付きプラグは確実にアースをしてください。
 - 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 充電式製品は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。
 - 製品内部に水が入り、感電やバッテリーが短絡する恐れがあります。
3. 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - 電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
 - 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体に絡まって感電する恐れがあります。
4. 使用環境に適した延長コードを使用してください。
5. USB 電源端子付き製品の場合、USB 電源部の端子間を短絡（ショート）させないでください。
 - 針、針金が USB 電源端子部に入ると、短絡（ショート）して発煙、発火の恐れがあります。

充電式製品の使用と手入れ

1. スイッチ付き製品の場合、スイッチに異常がないか点検してください。
 - スイッチで始動および停止操作のできない充電式製品は危険です。使用せず修理をお申し付けください。

⚠ 警告

2. 充電式製品の誤始動を防ぐために、使用後はスイッチを切り、バッテリーを本製品から抜いてください。
3. 使用しない充電式製品は、バッテリーを抜いて保管してください。
 - ・ 子供の手の届かない安全な所、乾燥した場所で鍵のかかる所に保管してください。
4. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。
5. バッテリーは専用充電器以外では充電しないでください。
 - ・ ほかのバッテリー用の充電器を流用すると、火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
6. マキタが指定した専用バッテリー以外使わないでください。また、改造したバッテリー（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。
 - ・ 本製品の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。
7. バッテリーはマキタ製品以外に取り付けて使用しないでください。
 - ・ 火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
8. バッテリーの端子部を金属などで接触させないでください。
 - ・ バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡（ショート）して発熱、発火、破裂の恐れがあります。
 - ・ 本製品または充電器からはずした後は、バッテリーにバッテリーカバーを必ず取り付けてください。
9. 高温などの過酷な条件下ではバッテリーから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に不用意に触れないでください。
 - ・ 万が一、バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。
 - ・ バッテリーの液は炎症ややけどの原因になることがあります。

整備

1. 充電式製品は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
 - ・ 本製品、充電器、バッテリーを分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
 - ・ 本製品が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
 - ・ 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
 - ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。

⚠ 警告

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。

- ・ 使用前に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
- ・ 破損した部品の交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- ・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。

<異常・故障例>

- ・ 本機が異常に熱い。
 - ・ 本機に深いキズや変形がある。
 - ・ 焦げくさい臭いがする。
 - ・ ビリビリと電気を感じる。
- ・ スwitchを入れても機能しないなど不具合を感じた場合は、すぐにバッテリーを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。
- #### 2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
- ・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
- #### 3. 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。
- #### 4. 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しないでください。
- #### 5. ご使用済みのバッテリーは一般家庭ゴミとして棄てないでください。
- ・ 棄てられたバッテリーがゴミ収集車内などで破壊されて短絡（ショート）し、発火・発煙の原因になる恐れがあります。
- #### 6. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
- ・ 爆発や火災の恐れがあります。
- #### 7. 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。
- ・ ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
 - ・ 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを差し込まないでください。
 - ・ 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。
- #### 8. 充電器のバッテリー装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。
- ・ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
- #### 9. 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。
- #### 10. 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

⚠ 警告

11. バッテリーは、火への投入、加熱をしないでください。
 - ・ 発火、破裂の恐れがあります。
12. バッテリーに釘を刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしないでください。
 - ・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
13. バッテリーを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
 - ・ バッテリーを周囲温度が 50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリー劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
14. 正しく充電してください。
 - ・ 充電器は定格表示してある電源で使用してください。昇圧器などのトランス類を使用したり直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く）異常に発熱し、火災の恐れがあります。
 - ・ 周囲温度が 10℃未満、または周囲温度が 40℃以上ではバッテリーを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - ・ バッテリーは、換気の良い場所で充電してください。バッテリーや充電器を充電中、布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - ・ 使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。破裂や火災の恐れがあります。
 - ・ 電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電してください。発煙、発火、感電の恐れがあります。
15. ぬれた手で電源プラグに触れないでください。
 - ・ 感電の恐れがあります。
16. バッテリーは、電力量が 100 Wh を超える場合、危険物に分類されます。
 - ・ 輸送の際は、輸送会社にお問い合わせの上、指示に従ってください。
 - ・ 電力量は、バッテリー裏側の注意ラベルに記載されています。（右図の○部分）



17. 充電器で使用する延長コードの太さ（導体公称断面積）と長さの目安
 - ・ 充電器の使用時に延長コードが必要な場合、充電器を最高の能率で支障なくご使用していただくために十分な太さの延長コードをできるだけ短くお使いください。

太さ（導体公称断面積）	長さの目安
2.0 mm ²	30 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることが出来る所に必ず保管してください。
- ・ ほかにの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

充電式コーヒーマーカー安全上のご注意

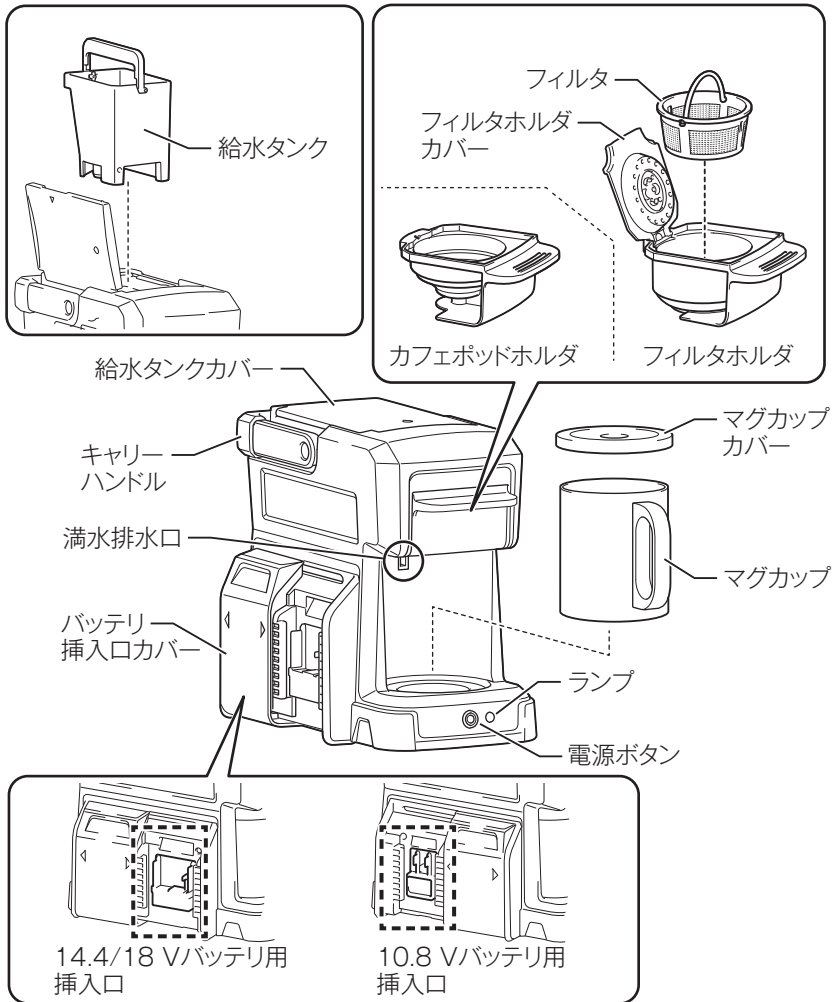
先に充電式製品として共通の注意事項を述べましたが、充電式コーヒーマーカーとして、さらに次の注意事項を守ってください。

JPB233-2

⚠ 警告

1. 本機は、安全に使用するための監督や指導の下、使用に際し危険が伴うことを理解する限り、8歳以上の小児が使用できますが、お手入れおよび保守はできません。本機および本機のコードは8歳未満の小児の手の届かない所に保管してください。
2. 本機は、安全に使用するための監督や指導の下、使用に際し危険が伴うことを理解する限り、身体的・精神的・感覚的な障害をお持ちの方、経験や知識がない方が使用できます。
3. 子供だけで使わせたり、幼児の手の届く所で使用しないでください。
4. 使用上の指示はすべてお読みください。
5. 本機は使用中に表面が熱くなるので、熱くなった部分に触れないでください。
6. 火災や感電を避けるため、本機を水などの液体に浸さないでください。
7. 使用しないときやお手入れの際にはバッテリーを抜いてください。また、本機が冷めるのを待って部品の着脱やお手入れをしてください。
8. 本機が破損した状態、あるいは何らかの故障がある状態で使用しないでください。検査や修理、調整の際は、指定のサービス施設に本機をお戻しください。
9. メーカー推奨品以外の別販売品を使用すると火災や感電、けがを引き起こす恐れがあります。
10. ガスまたは電熱レンジ、あるいは熱したオーブンの近くに置かないでください。
11. 意図された以外の用途では使用できません。
12. ドリップ中に給水タンクカバーを開けないでください。
13. ドリップ中にフィルタホルダやカフェポッドホルダを取りはずすとやけどをする恐れがあります。
14. 本機は安定した水平な平面に設置し、本機底部下の風通しを妨げないようにしてください。
15. 分解や改造をしないでください。また、ユーザーご自身で修理可能な部品はありません。修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

各部の名称



標準付属品

- ・ マグカップ (ステンレス製、カバー付き)
- ・ 計量スプーン (すり切り一杯：6.5 g)

注

- ・ キャリーハンドルをたたむときは、本体との間に指を挟まないようにしてください。

別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げ販売店、または当社営業所へお問い合わせください。

10.8 V バッテリー

- ・ バッテリー BL1040B (容量 4.0 Ah)
部品番号 A-59863

14.4 V バッテリー

- ・ バッテリー BL1430B (容量 3.0 Ah)
部品番号 A-60698
- ・ バッテリー BL1450 (容量 5.0 Ah)
部品番号 A-59259
- ・ バッテリー BL1460B (容量 6.0 Ah)
部品番号 A-60660

18 V バッテリー

- ・ バッテリー BL1815N (容量 1.5 Ah)
部品番号 A-60311
- ・ バッテリー BL1820B (容量 2.0 Ah)
部品番号 A-61715
- ・ バッテリー BL1830B (容量 3.0 Ah)
部品番号 A-60442
- ・ バッテリー BL1850B (容量 5.0 Ah)
部品番号 A-59900
- ・ バッテリー BL1860B (容量 6.0 Ah)
部品番号 A-60464

コーヒー豆

- ・ マキタの珈琲 (500 g) 中挽き
部品番号 A-61276
- ・ カフェポッド (60 mm タイプ)
部品番号 A-66450 ブラジル：芳ばしい苦みとコク深い味わい。
部品番号 A-66466 キリマンジャロ：甘酸っぱい香りとキレのある後味。
部品番号 A-66472 モカ：甘い香りとソフトな口当たり。

バッテリーについて

お買い上げ時は、バッテリーは十分に充電されていないため、バッテリー保護機能が働いている場合があります。（スイッチを操作すると本機は動く恐れがありますので注意してください。）ご使用前に急速充電器で正しく充電してからご使用ください。

- ・ 使用しないときはバッテリーカバーをかぶせてください。バッテリーを水やほこりから保護するのに役立ちます。

バッテリーを長持ちさせるには

- ・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
- ・ 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- ・ 充電は周囲温度 10℃～40℃の範囲で行ってください。
- ・ 使用直後などの熱くなったバッテリーは、充電器に差し込んで冷却し充電することをおすすめします。
- ・ 長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリーは充電してから保管することをおすすめします。

バッテリーの回収について

- ・ 使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。



リチウムイオンバッテリーは
リサイクルへ

バッテリーについて

バッテリー（別販売品）の取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

バッテリーは確実に差し込んでください。ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまでしっかり差し込んでください。

- ・ 差し込みが不十分ですと、はずれて事故の原因になります。

バッテリーを取りはずすときは、給水タンクカバーの熱くない部分をしっかりと押さえてください。

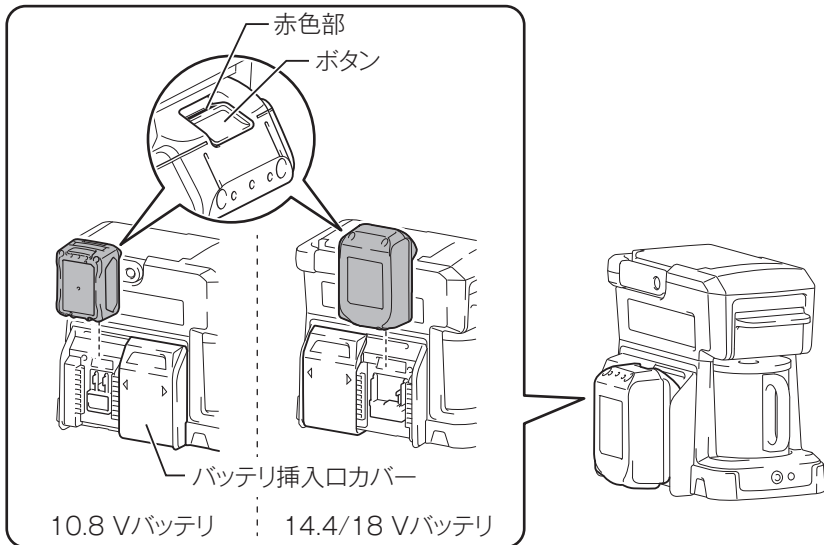
- ・ やけどや本機が倒れるなどの事故の原因になります。

取り付け方

1. バッテリー挿入口カバーをスライドさせて、使用するバッテリーの挿入口を開きます。
2. 挿入口の溝に合わせ、バッテリーを奥まで挿入します。
この際、ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまで確実に挿入してください。

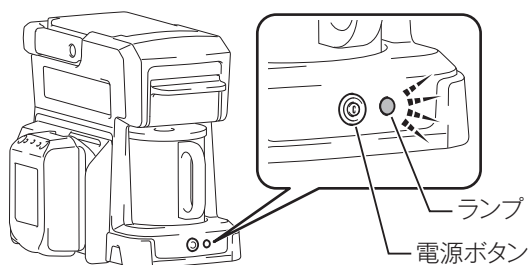
取りはずし方

1. 片方の手で給水タンクカバーの熱くない部分を押さえ、しっかりと固定します。
2. もう一方の手でボタンを引きながら、上に抜き取ります。



スイッチの操作

- ・ スイッチは電源ボタンを押すと入り、ランプが点灯してドリップが始まります。



- ・ 電源ボタンをもう一度押すと切れ、ランプが消灯します。

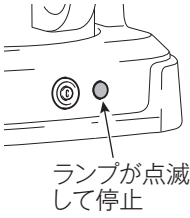
注

- ・ 保護機能により停止した場合は、ランプが点滅します。
※保護機能については 15 ページ参照。

保護機能

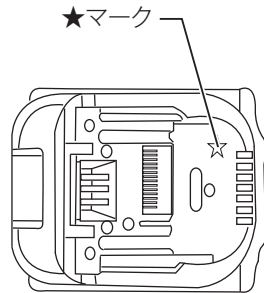
本機およびバッテリーの保護機能

本機を使用中、下記状態になりますと自動停止しますが、これは保護機能によるものであり故障ではありません。

保護機能	
<ul style="list-style-type: none">本機およびバッテリーの温度が高温になると自動停止します。<ul style="list-style-type: none">使用を中断して本機よりバッテリーを取りはずし、冷却ファン付きの充電器で充電および冷却をしてください。バッテリーを冷ましても本機が動作しない場合は、本機を冷ましてください。	 <p>ランプが点滅して停止</p>
<ul style="list-style-type: none">バッテリーの容量が少なくなると自動停止します。<ul style="list-style-type: none">本機よりバッテリーを取りはずし、バッテリーを充電してください。	

★マークについて

図のようにバッテリーに★マークがあるバッテリーは保護機能を搭載しています。

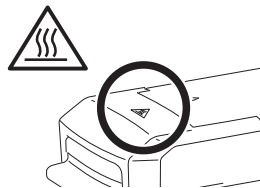


使い方

コーヒーの入れ方

⚠ 警告

- ・ 給水タンクにお湯を入れしないでください。熱湯の滴下が早くなり過ぎて、フィルタ（カフェポッド）からあふれ出します。
- ・ やけどを避けるために、ドリップ中（コーヒーの抽出中）にフィルタホルダ（カフェポッドホルダ）を取り出さないでください。
- ・ 蒸気が出ている間は、△マークの付いた注湯部に触れないでください。

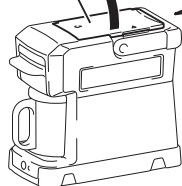


- ・ 蒸気はフィルタホルダ（カフェポッドホルダ）の下から出ます。
- ・ ドリップ中は底板が高温になります。底板には触れないでください。
- ・ ドリップ終了後は、5分以上の時間をおいてからフィルタホルダ（カフェポッドホルダ）を取りはずしてください。
- ・ 続けてドリップを行う場合、ドリップ終了後5分以上おいてから水を注いでください。間を置かず注水すると蒸気と熱湯が噴き出し、やけどをする恐れがあります。

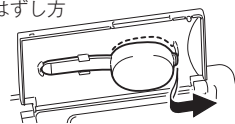
計量スプーンの収納

- ・ 計量スプーンは、給水タンクカバーを開いてホルダからはずして使います。使用後は、ホルダに固定して収納することができます。

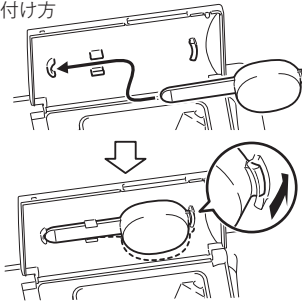
給水タンク
カバー



取りはずし方



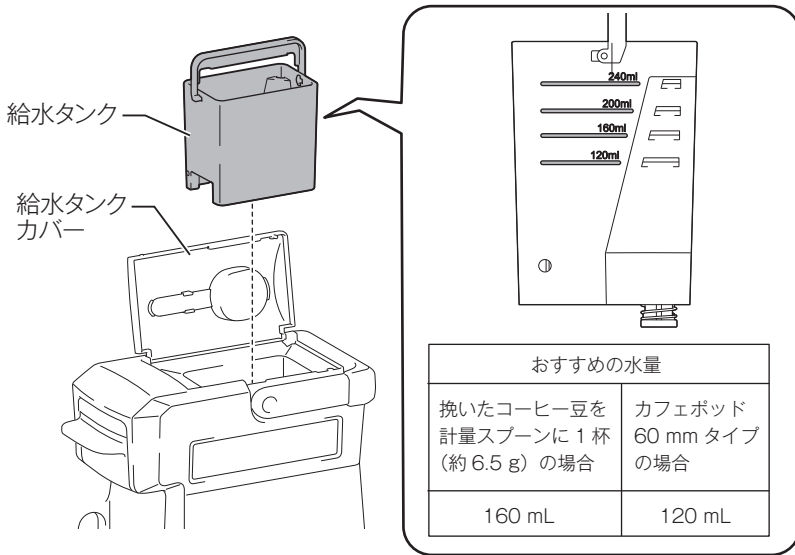
取り付け方



使い方

ドリップ前の準備

1. 給水タンクカバーを開けて給水タンクを取り出し、水を注ぎます。



2. マグカップをトレイに載せます。
3. バッテリーを取り付けます。(13 ページ参照)

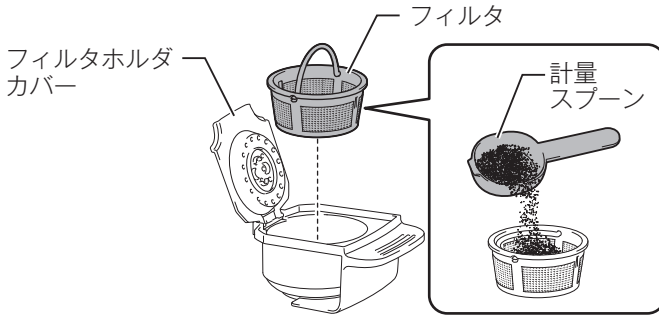
注

- おいしいコーヒーを作るためにも、きれいな水を使用してください。
- 本機は一度に 240 mL までのコーヒーをドリップすることができます。給水タンクに入れる水の量、コーヒー豆の量を調整することで好みの味や濃さに仕上げることができます。
- 水を入れ過ぎると満水排水口からあふれます。

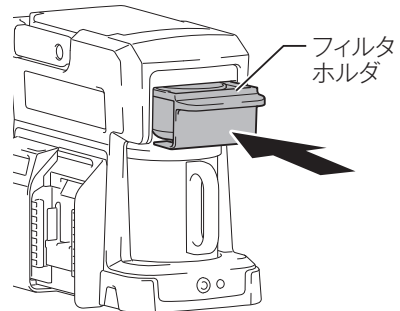
使い方

コーヒー豆のドリップ

1. フィルタホルダカバーを開いて、フィルタを取り出します。
2. 計量スプーンに1杯(約6.5g)の挽いたコーヒー豆をフィルタに入れます。



3. フィルタをフィルタホルダに入れ、カバーを閉じます。
4. フィルタホルダを本機にセットします。
5. 電源ボタンを押します。ランプが点灯しドリップが始まります。
6. ドリップが終わると本機の電源が自動的にオフになりランプが消灯します。
7. 5分以上経過してから、フィルタホルダを取り出してフィルタ内のコーヒー豆を捨てます。
8. フィルタホルダとフィルタの汚れを落とします。



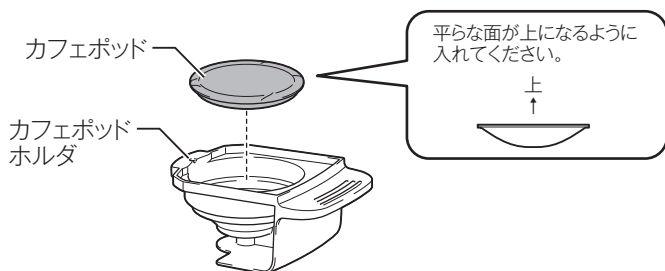
注

- コーヒー豆の量はお好みで調整してください。ただし、コーヒー豆を入れ過ぎると熱湯があふれ出す恐れがあります。
- ドリップを途中で停止するには電源ボタンを押します。本機の電源がオフになりランプが消灯します。

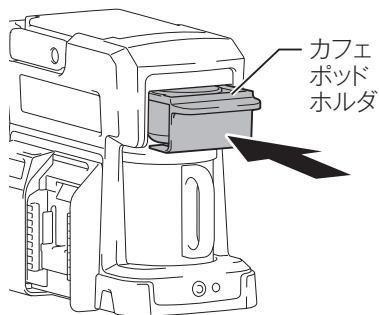
使い方

カフェポッドのドリップ

1. カフェポッドをカフェポッドホルダに入れます。



2. カフェポッドホルダを本機にセットします。
3. 電源ボタンを押します。ランプが点灯しドリップが始まります。
4. ドリップが終わると本機の電源が自動的にオフになりランプが消灯します。
5. 5分以上経過してから、カフェポッドホルダを取り出してカフェポッドを捨てます。
6. カフェポッドホルダの汚れを落とします。



注

- ・ 破損したカフェポッドを使用しないでください。
- ・ 複数のカフェポッドを同時に入れないでください。熱湯があふれ出す恐れがあります。
- ・ ドリップを途中で停止するには電源ボタンを押します。本機の電源がオフになりランプが消灯します。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、下記項目を点検してください。

症状

- 本機が停止する
- 始動しない

原因

保護機能※が働き、本機またはバッテリーが機能停止している可能性があります。

解消方法

スイッチを切って、再度入れてください。

↓ 解消しない

バッテリーを充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。

↓ 解消しない

本機を十分に冷ましてください。

↓ 解消しない

お買い上げの販売店、または当社営業所まで修理をお申し付けください。

※保護機能については 15 ページ参照。

- ・ 修理をお申し付けの際は、製品、バッテリー、充電器を一緒にお持ちください。

保守・点検について

⚠ 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、本機よりバッテリーを抜いてください。

- ・ バッテリーを本機に差し込んだまま行くと、事故の原因になります。

⚠ 注意

本機を初めて、または長期保管した後に使用する場合は次の作業を行ってください。

- ・ すべての梱包材を本機から取りはずしてください。
- ・ 本機の外装、フィルタ、およびフィルタホルダ（カフェポッドホルダ）を清掃してください。（本機のお手入れ 21 ページ参照）
- ・ 水を給水タンクに 240 mL 入れ（コーヒー豆のドリップ 18 ページ参照）、挽いたコーヒー豆をフィルタに入れしないで、水がなくなるまでドリップすることで本機内を清掃します。

本機のお手入れ

- ・ 適切な保守管理により本機を長く使用できます。使用した後に必ずお手入れすることで質の高いコーヒーの風味を楽しむことができます。
1. バッテリーをはずし、本機が冷えるのを待ちます。
 2. 水、または薄めた中性洗剤を付けた布で汚れを拭き取ります。
 3. フィルタホルダはフィルタごと本機から取り出し、洗剤水で洗ってからすすぎます。ポッドフォルダも同様に洗います。
 4. 本機とすべての部品を完全に乾かします。

注

- ・ 水洗いは絶対にしないでください。本機内部に水が入り、故障の原因になります。
- ・ 研磨剤入りの洗剤や研磨パッドは使わないでください。
- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。
- ・ 糸くずが残るので給水タンク内は布で拭かないでください。

保守・点検について

本機の内部洗浄

- ・ お使いいただいているうちに、水に含まれるミネラル成分が水の通路に湯あかとなって付着することがあります。湯あかによって、お湯が湧くときの音が大きくなったり、コーヒーのドリップに時間がかかるなどの影響が起きるため、クエン酸による洗浄をしてください。
1. 給水タンクを取り出し、最大目盛（240 mL）まで水を入れます。
 2. さらに、クエン酸を約 5 g 入れ、よくかき混ぜて溶かします。
 3. 給水タンクを本機に取り付け、マグカップをトレイに載せます。
 - ・ フィルタホルダ（カフェポッドホルダ）は取り付ける必要はありません。
 4. バッテリーを取り付け、電源を入れます。
 5. お湯が出終わったら、マグカップのお湯を捨てます。
 6. 給水タンクを取り出し、最大目盛（240 mL）まで水を入れます。
 7. 給水タンクを本機に取り付け、マグカップをトレイに載せます。
 8. 電源を入れます。
 9. お湯が出終わったら、マグカップのお湯を捨てます。

注

- ・ 臭いが気になるときは、手順 6～9 を繰り返してください。

保管について

- ・ 発火を避けるために、バッテリーを取りはずした後、本機が完全に冷えてから保管してください。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

CM501D-MJ-1801
IWT

株式会社 マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 (代表)